令和6年第7回田野畑村議会定例会会議録（第2号）

招集年月日	令和6年11月27日					
招集の場所	田野畑村役場					
開閉会日時	開会 令和6年12月6日			議長	鈴木隆昭	
	閉会 令和6年12月10日					
応（不応）招議員 及び出席議員並び に欠席議員 出席 10名 欠席 0名	議席番号	氏名	出席等別	議席番号	氏名	出席等別
	1	小松山 久 男	出	6	工 藤 求	出
	2	上 村 浩 司	出	7	佐々木 芳 利	出
	3	小 野 協 次	出	8	佐々木 伸	出
	4	中 村 勝 明	出	9	佐々木 功 夫	出
	5	畠 山 智	出	10	鈴木 隆 昭	出
会議録署名議員	3	小 野 協 次		4	中 村 勝 明	
職務のため議場に出席した者の氏名	事務局長	畠 山 哲	主査	畠 山 裕 晃		
地方自治法 第121条により 説明のため出席 した者の職氏名	村 長	佐々木 靖		教 育 長	藤 岡 宏 章	
	副 村 長	阿 部 芳 肇		教 育 次 長	佐々木 修	
	総 務 課 長	工 藤 光 幸				
	企画観光課長	工 藤 隆 彦				
	特定政策推進室長	菊 地 正 次				
	地域整備課長	平 坂 聡				
	住民生活課長	大 森 泉				
	健康福祉課長	佐 藤 和 子				
	診療所事務長	佐々木 和 也				
	会計管理者 税務会計課長	早 野 和 彦				
	産業振興課長	佐 藤 智 佳				
	企画観光課主幹	大 澤 健		総 務 課 主 査 主 任 主 査	角 舘 尚	
	産業振興課主幹	佐々木 賢 司		地 域 整 備 課 主 査 地 主 任 主 査	佐 藤 太	
				住 民 生 活 課 主 査 住 主 任 主 査	中 野 千 鶴	
				健 康 福 祉 課 主 査 主 任 主 査	畠 山 多加子	
議 事 日 程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙議事日程のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					

令和6年第7回田野畑村議会定例会会議録

議事日程（第2号）

令和6年12月9日（月曜日） 午前10時00分開議

開 議

- 日程第1 議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第2 議案第2号 田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例
- 日程第3 議案第3号 令和6年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）
- 日程第4 議案第4号 令和6年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第5 議案第5号 令和6年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第6 議案第6号 令和6年度田野畑村簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第7 議案第7号 令和6年度田野畑村下水道事業会計補正予算（第2号）

散 会

◎開議の宣告

○議長【鈴木隆昭君】 これから本日の会議を開きます。ただいまの出席議員は10人であります。定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

(午前10時00分)

◎議事日程の報告

○議長【鈴木隆昭君】 日程に従い進行します。

◎議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長【鈴木隆昭君】 日程第1、議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定しようとするものでございます。

議案第1号関係条例案概要を御覧ください。一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、条例案概要についてについてご説明いたします。第1、改正の趣旨でございますが、岩手県人事委員会の勧告に鑑み、初任給調整手当、寒冷地手当及び一般職の職員の給料表について所要の改正をしようとするものでございます。

第2として、改正案の内容でございますが、(1)、初任給調整手当の支給月額について41万5,600円から41万6,600円に引き上げるものでございます。

(2)、寒冷地手当の支給限度額について、職員の世帯等の区分に応じ引上げ改定を行おうとするものでございます。

(3)、給料表の引上げ改定を行おうとするものでございます。

施行期日等でございますが、この条例は公布の日から施行し、令和6年4月1日から適用しようとするものでございます。

議案にお戻りください。提案の理由でございますが、岩手県人事委員会の勧告に鑑み、初任給調整手当、寒冷地手当及び一般職の職員の給料表について所要の改正をしようとするものでございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長【鈴木隆昭君】 質疑を許します。

(なしの声あり)

○議長【鈴木隆昭君】 質疑なしと認めます。

討論なしと認めます。

これより採決を行います。この表決は起立によって行います。

議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長【鈴木隆昭君】 起立全員と認めます。

したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長【鈴木隆昭君】 日程第2、議案第2号 田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

特定政策推進室長。

○特定政策推進室長【菊地正次君】 タブレット30ページをお開き願います。議案第2号 田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例。

田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定しようとするものでございます。

条例案概要の2ページ目をお開き願います。第1、改正趣旨でございますが、寄附者が幅広い選択をできるよう、田野畑むらづくり基金を財源として行う事業の区分を改めようとしようとする事。

第2、改正案内容でございますが、寄附金を財源として行う事業区分を現行の5事業から8事業に変更すること。改正後の事業区分につきましては、(1)、産業振興に関する事業、(2)、教育、文化、スポーツに関する事業、(3)、保健、医療、福祉に関する事業、(4)、少子化対策に関する事業、(5)、移住、定住促進に関する事業、(6)、観光振興に関する事業、(7)、環境保全に関する事業、(8)、その他村長が特に必要と認める事業の8事業となります。

(2)、その他、改正に合わせて文言整理を行うこと。

第3、施行期日でございますが、この条例は令和7年4月1日から施行しようとするものでございます。

議案にお戻りください。提案理由ですが、寄附者が幅広い選択をできるよう、田野畑むらづくり基金を財源として行う事業の区分を改めようとするものでございます。

ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○議長【鈴木隆昭君】 質疑を許します。

1 番、小松山久男君。

○1 番【小松山久男君】 事業の中で、旧の中で（3）の自然エネルギーの整備に関する事業とあるのですが、今度の新しい項目の中にはどの項目に値するのですか。

○議長【鈴木隆昭君】 特定政策推進室長。

○特定政策推進室長【菊地正次君】 お答えいたします。

現行の（3）、自然エネルギーの整備に関する事業が改正後はどこに当たるかというご質問だと思っておりますけれども、（7）の環境保全に関する事業ということになるかと思ひます。

○議長【鈴木隆昭君】 1 番、小松山久男君。

○1 番【小松山久男君】 （7）の環境保全に関する事業に当てはめて、自然エネルギーの整備に関する事業と一緒に進めるといふことですか。

○議長【鈴木隆昭君】 特定政策推進室長。

○特定政策推進室長【菊地正次君】 そのように考えてございます。

○議長【鈴木隆昭君】 ほかございませんか。

（なしの声あり）

○議長【鈴木隆昭君】 これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（なしの声あり）

○議長【鈴木隆昭君】 討論なしと認めます。

これより採決を行います。この表決は起立によって行ひます。

議案第2号 田野畑むらづくり基金条例の一部を改正する条例を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願ひます。

（起立全員）

○議長【鈴木隆昭君】 起立全員と認めます。

したがって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

◎議案第3号の上程、説明、質疑

○議長【鈴木隆昭君】 日程第3、議案第3号 令和6年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 タブレット32ページを御覧ください。議案第3号 令和6年度田野畑村

一般会計補正予算（第8号）についてご説明いたします。

歳入歳出予算の補正でございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,146万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ40億1,136万7,000円とするものでございます。

タブレット37ページ、予算書4ページを御覧ください。第2表、繰越明許費でございますが、2款総務費、1項総務管理費、新庁舎整備事業費について1,925万円計上しております。

次のページ、予算書5ページを御覧ください。第3表、債務負担行為の補正でございますが、田野畑村総合バス運行管理業務委託料1億3,500万円、田野畑村役場公用車運転及び車両管理業務委託料1,200万円、田野畑村立学校給食センター調理及び配送等業務委託料4,290万円計上しております。これは、いずれも長期継続契約が6年度末で契約が満了に伴うものであり、新たに期間を令和6年から令和9年まで設定し、各年度替わりであっても切れ目のない業務の執行を図るものでございます。

次のページ、予算書6ページを御覧ください。第4表、地方債補正でございますが、1、追加として村営牧野車両購入事業について800万円、三陸鉄道災害復旧事業として150万円、それぞれ新たに追加しております。

2、変更でございますが、生活交通対策事業から次の7ページ、中央防災センター改修整備事業まで9事業をそれぞれ限度額の補正を計上しております。

タブレット46ページ、予算書10ページを御覧ください。歳入のうち、主なものについてご説明いたします。10款地方交付税、1項地方交付税、1目地方交付税、1節普通交付税でございますが、6,130万9,000円追加計上しております。

14款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、2節障害者介護給付費等負担金でございますが、障害者自立支援給付費国庫負担金について500万円追加計上しております。同じく8節介護保険低所得者保険料軽減負担金について115万8,000円減額計上しております。

同じく14款国庫支出金、2項国庫補助金、6目土木費国庫補助金、1節土木費補助金でございますが、社会資本整備総合交付金について4,280万7,000円減額計上しております。

15款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金、3節障害者自立支援給付費県費負担金について250万円追加計上しております。

次の11ページを御覧ください。同じく15款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金、3節児童福祉費補助金でございますが、子ども・子育て支援交付金について160万円減額計上しております。

同じく15款県支出金、3項委託金、1目総務費委託金、3節選挙費委託金でございますが、さきに投開票が行われました衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査委託金、参議院議員補欠選挙事務委託金について316万8,000円追加計上しております。

16款財産収入、2項財産売払収入、1目不動産売払収入、1節土地売払収入、2節建物売払収

入でございますが、災害公営住宅売払いの際、本来であれば建物と土地の売払いを分けるべきところ、同一の収入としたことから、それぞれの科目に当該金額の149万円を追加及び減額訂正するものでございます。

次の12ページを御覧ください。18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金、1節財政調整繰入金について5,974万2,000円追加計上しております。同じく6目東日本大震災災害復興基金繰入金、1節東日本大震災災害復興基金繰入金について596万8,000円追加計上しております。同じく11目庁舎及び公共施設整備基金繰入金、1節庁舎及び公共施設繰入金について1,925万円計上しております。

21款村債、1項村債、2目民生債、1節放課後児童クラブ運営事業債について160万円追加計上しております。同じく4目農林水産業債、1節農業整備事業債でございますが、村営牧野車両購入事業800万円追加計上しております。同じく6目土木債、1節道路整備事業債でございますが、社会資本整備総合交付金事業分について3,060万円減額計上しております。

次の13ページを御覧ください。同じく21款村債、1項村債、7目消防債、1節消防防災施設整備事業債でございますが、防火水槽等整備事業及び中央防災センター改修整備事業、2事業合わせて250万円、事業完了に伴い減額計上しております。

次に、歳出のうち、主なものについてご説明いたします。タブレット51ページ、予算書15ページを御覧ください。なお、人件費関係につきましては、主なものが国政選挙に係る費用や岩手県人事委員会勧告に準じた改正分等であることから、説明を割愛させていただきますことをご了承ください。

2款総務費、1項総務管理費、5目財産管理費、12節委託料でございますが、支障木伐採委託料、庁舎エアコン設置設計業務委託料、新庁舎建設基本計画策定支援業務委託料、3事業合わせて2,009万7,000円を追加計上しております。これは、村有施設周辺の支障木伐採費用のほか、事業完了に伴う減額及び新庁舎建設検討のための基本計画委託料を追加するものでございます。同じく14節工事請負費でございますが、庁舎エアコン設置工事の完了に伴い209万4,000円減額計上しております。

同じく9目諸費、18節負担金補助及び交付金でございますが、180万円追加計上しております。内容といたしましては、暴力団追放岩泉・田野畑地区民会議負担金について、今年度は納付が不要であることから5万円減額、田野畑村地域公共交通活性化協議会補助金は予約運行交通等の実績及び今後の運行見通しから185万円追加計上しております。

タブレット54ページ、予算書18ページを御覧ください。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、19節扶助費でございますが、重度心身障害者医療給付費から生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策事業扶助費まで、4事業合わせて1,378万円追加計上しております。内容といたしましては、実績や今後の見通しに係る給付分や原油高騰、物価高騰対策となる、いわゆる

る福祉灯油につきましては引き続き物価高騰等を考慮し、県の補助基準であります7,000円に村単で3,000円かさ上げし、支給額を1万円とするため、追加等を計上しております。同じく27節繰出金でございますが、国民健康保険特別会計のうち事業勘定繰出金として、144万5,000円追加計上しております。これは、人事委員会勧告等に対応する費用となっております。

同じく2目老人福祉費、27節繰出金でございますが、介護保険特別会計保険事業勘定繰出金、同介護サービス事業勘定繰出金、2事業合わせて589万7,000円減額計上しております。内容は、事業の実績に伴うものや、一部国県の補助対象費用となったことによる減額となっております。

次の19ページを御覧ください。4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、27節繰出金でございますが、簡易水道事業会計繰出金について171万2,000円追加計上しております。

次の20ページを御覧ください。同じく4款衛生費、1項保健衛生費、3目診療諸費、27節繰出金でございますが、国民健康保険特別会計直営診療施設勘定繰出金として381万5,000円追加計上しております。

同じく4款衛生費、2項清掃費、1目清掃総務費、18節負担金補助及び交付金でございますが、浄化槽設置整備事業補助金として102万円追加計上しております。

6款農林水産業費、1項農業費、4目畜産業費、17節備品購入費でございますが、村営牧場で使用しております牧草の収穫を行うためのロールベアラーが老朽化したことから、1台買換え更新に伴う費用として800万円追加計上しております。

次の21ページを御覧ください。同じく6款農林水産業費、3項水産業費、1目水産業総務費、27節繰出金でございますが、下水道事業会計繰出金として145万8,000円追加計上しております。

次の22ページを御覧ください。7款商工費、1項商工費、2目商工振興費、18節負担金補助及び交付金でございますが、第三セクター4社の賃上げ奨励補助金として936万4,000円追加計上しております。

同じく3目観光費、14節工事請負費でございますが、机浜番屋群構内配電線路改修工事として426万3,000円追加計上しております。内容といたしましては、現在施設内の配電に当たり、木製の電柱となっておりますが、腐食が進み倒壊のおそれがあることから、電柱をコンクリート製に変更するものでございます。

次の23ページを御覧ください。8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費、12節委託料でございますが、道路維持管理委託料から道路空間確保支障木伐採業務委託料まで、3事業合わせて1,780万円追加計上しております。内容は、通常の維持管理のほか、村道脇ののり面上の倒木、危険木の除去及び道路の除雪にかかる費用となっております。

同じく3目道路新設改良費、12節委託料でございますが、村道沼袋三沢線登記事務委託料から三陸沿岸道路追加インターチェンジ整備協議資料作成業務委託料まで、3事業合わせて125万1,000円減額計上しております。同じく14節工事請負費でございますが、村道沼袋三沢線道路改

良舗装工事から三陸沿岸道路追加インターチェンジ整備工事まで、4事業合わせて6,470万円減額計上しております。同じく21節補償補填及び賠償金でございますが、村道沼袋三沢線物件補償費から三陸沿岸道路追加インターチェンジ整備物件補償費まで、3事業合わせて760万円減額計上しております。内容といたしましては、14節工事請負費でも社会資本整備総合交付金の補助を受けて予定していたところですが、残念ながら採択率が低位に推移したことから、減額するものでございます。

次の24ページを御覧ください。同じく8款土木費、5項下水道対策事業費、1目特定環境保全公共下水道事業費、27節繰出金でございますが、下水道事業会計繰出金として153万1,000円追加計上しております。

9款消防費、1項消防費、3目消防防災施設費、14節工事請負費でございますが、消火栓設置工事及び田野畑村中央防災センター改修工事の完了に伴い212万3,000円減額計上しております。

次の予算書26ページを御覧ください。10款教育費、3項中学校費、1目学校管理費、10節需用費でございますが、消耗品及び修繕料として255万3,000円追加計上しております。内容といたしましては、令和7年度から教科書改訂に伴い、教師用の指導書等を購入するものでございます。

同じく28ページを御覧ください。11款災害復旧費、1項土木施設災害復旧費、1目土木施設災害復旧費、12節委託料でございますが、公共土木施設等災害復旧測量調査設計業務委託料として320万円追加計上しております。内容といたしましては、令和5年8月の大雨災害に遭った島越地内の開拓道について、工事施工に当たり工法の変更が生じたことから、地質調査等を実施するものでございます。同じく14節工事請負費でございますが、公共土木施設等災害復旧工事過年度災分として5,290万円追加計上しておりました。内容といたしましては、12節委託料と同様、令和5年8月の大雨災害の復旧工事で当初見込んでいた工事より想定外の現場の状況が露見したことから、工事の内容に変更が生じたことによる追加計上となっております。

同じく11款災害復旧費、3項その他災害復旧費、1目その他災害復旧費、18節負担金補助及び交付金でございますが、三陸鉄道災害復旧事業費負担金として152万4,000円新たに計上しております。これは、本年8月の台風5号の大雨による宮古市地内の線路敷が流出したことに伴い、復旧工事の負担金となっております。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長【鈴木隆昭君】 質疑を許します。

4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 説明をお聞きいたしまして、繰越明許、予算書の4ページ、タブレットでは、これに計上になっているわけですが、補正予算の提案と繰越明許が一緒の提案というのは、私は珍しいなというふう思っております。まだ予算を議決にもなっていないくて、補正予算の提案と繰越明許が一緒の提案というのは何か私はおかしいなというふうに思っているのですが、納得でき

るように説明をしていただきたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 ただいまのご質問でございますが、今ご指摘のとおり、これまでといたしますか、本来であれば3月議会等でお願ひする、繰越しについてはそういう手続でございましたが、今回お願ひしてございますのは、今度補正でもご提案しております庁舎建設に係る基本計画の策定につきまして、当初からもう年度内での策定は厳しいということが予想されておりますことから、今回、補正予算と同じ時期になりましたが、繰越明許ということでお願ひするものでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 提案するほうも、何となくおかしいというふうに答弁をもらいましたが、そうすると11月5日に特別委員会を議会主催でやったわけですが、そのときの新庁舎建設基本計画予算の提案等について当局から文書を頂きました。令和7年2月に今後の対応として、これは今答弁をした総務課長の説明があったわけですが、今回基本計画が決まったとして、決まるような気はするのですが、令和7年2月に委託業務発注という説明に変更があるわけですか。本来であれば、2月に業務を発注をして、それをやってみて、残った予算を繰越明許するのが筋だと思うのですが、そうするとこれからの今後の対応、スケジュールに変更があるわけですか。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 11月5日の特別委員会でご説明申し上げましたスケジュールには、変更がございませんで、2月に予算議決いただきましたが、これから入札の関係の手続、準備に移りまして、2月に業者を決めて発注して進めていくということに変更はございません。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 そうですと、今の総務課長の説明ですと、やっぱりおかしいのではないですか、当初から全額を繰越明許する、それを今回議会で決めるというのは、筋が通らないのではないですか。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前10時30分）

再開（午前10時30分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 11月5日の特別委員会の際にもご説明申し上げたとおり、今回の委託業務につきましては、おおむね10か月の業務期間を見込んでおります。仮に今回、繰越明許取らず現年度予算だけで予算をいただいたということになりますと、年度を越えての業務期間の設定は無

理ですので、一旦、年度内の業務期間を設定した上で契約をし、しかる後に年度内での完成が無理だということで繰越しの手続を取るということになるわけですが、10か月の契約期間ということと業務の発注時期からすると、それは非現実的なことというふうに思っておりまして、2月の発注で10か月の工期を取りたいということで、あらかじめ繰越しの手続を取らせていただきたいというものです。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 いや、今の説明そのものが私は、これでもって反対とか、そんなのではなくて、手続上おかしいと思いませんか、副村長。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 今回委託料として1,900万円余を計上しているわけですが、一旦、年度内の工期でこの金額の契約をすることのほうが現実的ではないというふうに思っておりまして、繰越しの手続を踏んだ上で、来年度までに終わるような形の契約を行うべきだというふうに思っている予算計上でございます。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 では、この件は、私だけでは質疑になりませんので、保留にして庁舎建設について質問していいでしょうか。どうしても私は納得できません。事務手続としておかしくはないかということ指摘しておきたいと思います。

庁舎建設について、私は答弁をいただいたり、同僚議員に対する答弁を聞いて、やっぱりおかしいなと思っている部分があるのです。総務課長は、11月5日の今後の対応の説明について、2月に業者委託をすると。事務手続上のことについては、午後かあした審議が続くと思いますので、それでじっくり勉強をして詰めてみたいわけですが、私が一般質問で申し上げました。村長は、私の一般質問に対する答弁は、今この時点で村長なりの場所決定を述べたとすれば、何かには影響があるという理由で自分なりの場所選定については示しませんでした。これは、私はおかしいと思っているのですが、でもよくよく考えてみますと、それがいいことかもしれません。なぜそうかといいますと、村長はやっぱりそれなりの権威がありますので、ですから今度の1,925万円の予算提案については、あくまで4月に検討委員会を新たに設けるというスケジュールなわけですから、建設検討委員を立ち上げる、これ4月、それまでは村長は自分なりのアズビィがいいか、高校跡地がいいかについては一切どこにも明言をしないという態度を貫くわけですか。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 今定例会で基本計画に関する予算をお願いしているところでございます。業務の中で、候補地としてメリットがある、デメリットがあるということ客観的にまたその中で整理してもらおうということも、業務を含んでおります。ということで、現時点で私の考えを述べることは議論に影響を与えるものになるかと思っておりますので、現時点では差し控えさせていただ

きたいということでございます。その時期につきましては、今後また熟慮していきたいと思っております。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 そういたしますと、誠に建設検討委員というのも、大事な委員会になるわけですが、当局で現在考えている検討委員の選定は、どんな方を選んで、人数は何人の委員会を立ち上げる予定でしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 検討委員会についてのご質問でございますが、5年度にも実施いたしました委員会というような形で、メンバーといたしましては村内の産業団体からの代表の方ですとか、自治会関係の代表の方等含みまして20名以内ということ考えていきたいと考えております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 庁舎の予算に関係するのですが、村有地、今のところ2か所が想定される場所だと思いますし、その中でどちらかの色合いが示されないような状況の中で、議会として、議員として判断するのは非常に難しい。これは、しかも今回は過半数が前提のあれだと思うのですが、候補地が出てきたときは特別議決3分の2以上ということになるわけですから、私から言わせれば、この案件は、要するにこの状態でするのであれば、別途な形で提案したほうが審議がしやすいと、結論を出しやすいと思いますが、当局がたしか議会でどうのこうの、意見として。

それから、まだいまだに場所が、方向性が分からないような状態、そしてなおかつ4番さんの一般質問の答弁は今後村民の皆さんとも意見交換を深めながら、適地を選定してまいりたいと考えている。全然、右なものだか、左なものだか、さらに村民と相談しなければならないと、こういう状態の中で、議会に提案するというような、やっていることが逆ではないですか。本来は、村民からほぼ集約したものを提案するのが筋だろうと私は考えます。だから、今の状態だと、右と左とも分からないもの。例えば盛岡市の市役所の建設の場合、今、他の市町村を例に取ってですが、たしかもう候補地を絞り込んだ上で提案されるような状況に新聞紙上で見たのですが、こういう形が本来の形だと思うのですが、いかがですか。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 他市町村の状況、検討の様子については、私承知しておりませんが、基本構想において検討委員会で候補地を村有地2か所、村有地のほかにも用地取得が必要な場合には必要最低限にとどめるということでまとめていただいております。これからも村民の意見を吸い上げながら、また新たな検討委員会の中でもいろいろなご意味があるかと思っておりますので、そちらのほうを総合的に勘案しながらも、時期を見て考えを示したいと思っております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 私は、一般質問でもこの場所については、一議員としてのいわゆる岩泉高

校田野畑分校の跡地を強調した経過がある。それに対して、村民からは、特に異論もなかったし、むしろ適切だという声を聞いたし、またそういう声を聞いたから、私も一般質問で声高くして質問した経過がある。にもかかわらず、こういうまだ右とも左とも分からないような状況の中で提案する自体は、本来は適切だとは私は思いません。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 議員、高校の跡地が適切だという村民の声も聞いたという話でございますが、私のほうもいろいろ聞く中で、アズビィのほうもいい、高校の跡地もいいという両方の意見も聞いておりますので、それらを今後実施計画の中でまた議論していきながら、また村民の声も吸い上げながら、進めていきたいというようなことでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 村長、申し上げておきますけれども、村長は議会軽視的な場面というか、そういうように私は疑っています。その1つは、金の延べ棒の用途については、議会等と協議してなんて形まで上げて、何ら協議をしていない。あるとき、ある議会で、総務課長が総合開発計画の中に放り込ませた、全然言っているのとやっていることがしっちゃかめっちゃかです。答弁も含め、もう少しきちっと考えてほしいです。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前10時44分）

再開（午前10時44分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

9番、答弁よろしいですか。

○9番【佐々木功夫君】 いや、もう答弁してもらわなければ、俺はそう思っているが、どう考えているのか。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 議会軽視をしているという、私、認識はございませんし、これからも丁寧に説明していきたいというふうに考えております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 先ほど俺が申し上げた金の延べ棒、寄附金の用途については、議会等と協議するとちゃんと3月のいわゆる所信表明の中で活字にしてあるわけです。それを議会の誰と協議したか、議会というのは議員個々ではないわけですから、協議していないでしょう。これは、私は議会を軽視していると思います。それが事実であったどうか、まず軽視するしないはその先として、そういう事実があったかないか、そこの確認したいです。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前10時46分）

再開（午前11時00分）

○議長【鈴木隆昭君】 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を伺います。

阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 お答えいたします。

金の延べ板の寄附に関しましては、令和5年1月に寄附を頂戴したわけでございまして、その後の2月の令和5年度の村長の施政方針の中で、9番議員がおっしゃったように、正確な表現というか読み上げますが、「議会等と協議、相談を重ねながら、用途を決めていきたいと考えております」ということで申し上げたところでございます。その後、その方針に基づきまして、その年地区懇談会で寄附を頂戴いたしまして、こういった用途を村としては考えていますけれども、皆様も意見を下さいということでご意見を頂戴いたしましたし、実際に寄附金を充当し始めたのは令和6年度当初予算からになるわけですが、令和6年度当初予算の議案計上に当たっては、事前に全員協議会で村としてはこういった形で進ませてもらいたいということでご説明を申し上げた上で、議案を出しているところでございまして、村としては議会と協議を行いながら、用途を決めているという認識でございます。

今後についても、同じような形で、当初予算に当たりましては、事前に金の延べ板部分については、こういった形で活用していきたいということをご説明申し上げた上で、予算を計上する形にしていきたいというふうに考えております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 私の記憶であれば、議会全員協議会、欠席した記憶もないのですが、さっきの説明あった全員協議会で説明してあるのやというように答弁したのですが、そのとおりですか。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 今申し上げたことにつきましては、令和6年2月21日に開催した議員全員協議会において本年度予算分のご説明しております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 それでは、何に使うという説明してありますか、具体的に。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 ただいまのご質問でございますが、今年度分につきましては、DX推進事業、それからブルーツーリズムの推進事業、インバウンド観光推進事業、水産業の振興関係、それから子供自立支援関係と、あとは中学校の管理関係ということで、これは生徒用の備品購入

というようなことで、今年度については当初予算で計上をさせていただいているところでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 今年度というのは、昨年、今年のいわゆる総合開発計画の中に放り込んで、順次使うと。その中には、新庁舎の建設費用も、ここもあるという、そういう説明は聞いたけれども、あえて議会と協議された、俺は記憶が全くございません。協議でなく、一方的に総務課長が説明したのは記憶がありますし、それは鮮明に分かっていますけれども、それ以外には私、もし他の議員で説明、俺以外の議員で説明受けたという人があれば、それはまた改めてあれして、その辺、もし議長、よかったら休憩中でも確認してみてください。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前11時05分）

再開（午前11時07分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開します。

阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 一部、繰り返しのお話になってしまうこともあるかと思いますが、ご説明いたします。

令和6年2月の全員協議会においては、大きな活用方針としまして5本の柱を立てて、それごとの大まかな金額の割り振りをまずは大方針としてご説明したところですが、その上で、先ほど総務課長から答弁いたしましたとおり、令和6年度当初予算については具体的にこういった事業について充当していきたいですというお話を差し上げたところです。この件につきましては、議会の一般質問の場などで、こういった活用方針どうなっているのだというような質問も度々あり、その際には考えの一端を申し述べてきたところではございますが、まとめた形としては令和6年2月のところで大方針を説明したところでございます。もちろん個々具体の事業に充当していくときには、最終的には議案の形でお諮りして審議をいただくということにはなりますが、それだけではなく、当初予算編成時ほか、適切な時点において、事前に情報提供なりを相談するような形にはしていきたいというふうに考えております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 今の説明だと、議会等と協議という文言が、協議というのは議会からもそれなりの意見なり参考意見なり得るわけです。ところが、今の説明なら当局の一方的な使い道を示しているだけで、議会等と協議という部分が何も出ていないのでしょうか。そこなのです。協議というのは、議会からもそれぞれの立場で考え方、意見を述べるのが協議だと私は理解している。今のは、当然議案執行については、協議とかでなく議案として提案しなければならない、これは

当然の話だと思うのです。協議の部分なのです、問題は。協議らしいのは、一切なかったでしょうということを強調しているのであって、提案の段階の問題とか、当局が一方的に示した内容でしょうということを私は言っている。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 お答えいたします。

我々としては、全員協議会のご説明をしております、あとは協議というのをどういった場で、どういった形でやるかということについては、現在ある仕組みの中では全員協議会で説明して、よろしければその場でご質問等いただくというのものもあるかと思っておりますが、全員協議会ではまず聞くにとどめておくといったような反応だったかというふうに記憶しております、協議という言葉の意味からすると、何か協議の場がないとなかなか個々にやるものでもないと思っておりますので、繰り返しになりますが、今の仕組みを前提にすると、全員協議会のところでご説明はいたしますので、それ以上ということになりますと、ではどういった形がいいのかということ別途議会事務局を通じてやり取りする形になるのかなというふうに思っております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 やり取りしても、並行だと思うのですが、やっぱり協議というのは、議会の立場としても意見を述べたり、ただ今のあれだと当然その都度、用途については議案として議会に提案し、その場での協議あるいは理解はあるかもしれないが、それは、議会に提案する前の段階での協議らしいのは、これはなかったと認識しています。先ほどの議長もそういうようなニュアンスの理解をしているやに、大きくここがずれるわけですけれども、それだったら協議という表現を使わないで、逆に議会等に理解してもらおうとか何かということであれば、協議という文面に関わる内容、何ひとつ私はなかったと理解しています。

○議長【鈴木隆昭君】 では、暫時休憩いたします。

休憩（午前11時12分）

再開（午前11時16分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 私の発言で時間経過したまま、それは大変申し訳ございません。引き続き、先ほどの件に関わる問題としても、いわゆる新庁舎建設も右と左とも分からない方向性が確かな決定はできないような状態で提案し、なおかつさらに村民と協議なんて深めて、全く曖昧な……いわゆる村長自身の姿勢、本人の姿勢が全くなっていない、私から言わせれば。そのことについて、さっき言ったのは、議会軽視的な部分もありますよという、そういうこと。もう少し自分の村長として、村のトップリーダーなのだから、ある程度自分なりの方向性なり、それは出して示

して、もちろんPRのときはそれなりの自分の思いぐらいは出てもいいと、もちろん決定になるわけではない、そういうのはしないけれども、総じてそういうような、村長は姿勢というか、そういう構えでいるから、とても判断に苦しむというのは、そのことを言っているのです。

○議長【鈴木隆昭君】 ただいまの発言は、意見として受け止めていてよろしいですね。

○9番【佐々木功夫君】 いや、……

○議長【鈴木隆昭君】 答弁……

○9番【佐々木功夫君】 これは、今提案されている新庁舎に対する右か左か、全く見えてこないから、とても明らかにならないとしても、そういうものを参考にしても、とても一括になっているから、非常に判断は難しいと、私は賛成できるような状態ではないとはっきり申し上げます。

○議長【鈴木隆昭君】 では、これも意見として留めておきます。

4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 一般質問、6日にやったのですが、9番議員に同調するわけではないのですが、私も村長に対して同じような感覚を持っています。例えば職員の退職等も、そのために私は、プライバシーに関わるなと思いつつ、指摘をさせていただきました。でも、おかげさまでプライバシーに関わるなと心配しながらの質問でしたが、結果として質問してよかったのです。村長も総務課長も前向きな答弁をいただきましたから。ただ、陸中たのはたについての答弁は、私は通告はしなかったのですが、同僚議員の質問に対する答弁は、これは誠にいただけません。社長である村長、8番議員の質問だったのですが、関連で役員会なりなんなりを毎月やっているのかいないのかという答弁も、8番議員が率直に質問したのです。何番議員を言いますけれども、それに対する答弁が聞いていられませんでした、社長、村長。もし自分が把握していなかったらば、担当課がいるわけですから、しっかりと答弁させるべきだと思うのです。そうでなくても、村民は不安で仕方ありません。私には電話も来ます。お会いしたときは、これから羅賀荘は一体どうなるのだ、心配でたまらないわけです、村民は。私もそうです。村長も責任者ですから、私なんかよりはずっと責任があおりでしょうから、誰より心配しているのではないですか。村長でなくてもいいですが、担当課で結構ですが、令和5年度の取締役会は、日時を含めて、取締役会を何月何日で何回やっているかを答弁してください。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前11時21分）

再開（午前11時22分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 お答えいたします。

今すぐいつというのは、ちょっと調べてから報告しますが、一般質問でも申し上げましたのは、役員会、一般的には総会の前に議案について検討したりとかということもございまして、そういうときには確実にやっております。あとは、役員会まで至らなくても私ども担当課と羅賀荘で協議を毎月やっております。それは、経営状況とか、こういったのをやったほうがいいのではないとか、あとは羅賀荘からの冬の時期になってきたから、こういうキャンペーンをしたいとか、新聞も御覧になっているかもしれませんが、そういった取組を相談させていただきまして、取り組んでおります。そして、観光船についても、そのとおりの報告させていただいております。そういった連携はしてやっておりますので、あとは役員会についてはそういった経営に関することが必要なときに行われるものだとは思っておりますが、その日時等、回数については、後ほど回答させていただきます。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 いや、分かりました。そういう答弁も、一般質問で村長がやるべきなのです。本当に私は、悔しくてたまりませんでした。8番議員の質問に対して、こんなに悔しがるのは、どうかしているかもしれませんが、私だって反対をしたり賛成したりしている議員の一人なのですが、本気になって考えて質疑をしているつもりです。そして、賛成したり反対したりしているのです。村長、やっぱり政治姿勢をこれから、これからで結構ですから、残された任期、本当に6日の答弁については幾ら何でも悔しくて、私はたまりませんでした。改善する気はないですか、村長。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 陸中たのはたに関しては、4億円貸し付けているということで、私も危機感を持って取り組んでおります。6日の質問に対する答弁ですけれども、毎月取締役会をやっているということではなくて、定期的に、また必要に応じて、それぞれ開催しておりますし、私も羅賀荘のほうに伺った際には、常務からどういう状況なのだ、経営改善計画に対してどうなのだということも確認しておりますし、担当課のほうでも毎月これは書面でもって数字も確認し、役場内部で会議等もして確認しているところでございます。ご心配をおかけして、申し訳ございませんでした。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 村長、申し訳ないと、社長である村長に大変失礼な、僭越だったかもしれませんが。とにかく村民のために、ぜひとも改めていただきたいということは、ぜひ申し上げておきたいと思っておりますので、あしからず、よろしくお願いします。

それと、営業報告書、事業報告書を見たのですが、それに文書でこういう表現がありました。観光船については、他自治体等の動向を見て、在り方の見直しというふうな記載がありました。私は、宮古なんかでもいろいろ赤字だ何だということで、浄土ヶ浜の観光船がなくなったり、他

自治体もいろいろ赤字ということになると判断に苦しむわけですが、でも田野畑の観光船は、私は何としてもなくしたら駄目だと思っているのです。在り方の変更というのを、社長である村長はどう考えての記載でしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 在り方の見直しということで、村長から答弁を差し上げたところですけども、現時点でこうしなければならないとか、こうすべきだということまでがあるわけではなく、観光船関係に関しましては他自治体の例というふうに答弁でもありましたが、ご記憶に近いところでは宮古が民間事業者での運航は厳しいということがあって、市が引き取って市が今は委託という形でやっているかというふうに認識しておりますし、あと震災以降、釜石市ではもともと観光船「はまゆり」を運航していたわけですけども、事実上、今は休止状態といいますか、廃止に近いような形になっているというようなところでございまして、あとはほかにも全国見ますと、順調に民間でやっているところもありますし、そういったような事例を参考にしまして、いずれ答弁にありましたとおり、今年度、料金の見直しですとか、あとは勤務体系の見直し等も行いまして、収支は一定程度改善したところではあるのですが、まだ赤字だということでは何らかの見直しはかけたいと、何らかの運営方法の見直しは、結果的に変わらないにしても、行っていききたいというところでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 第三セクター関係に関わる問題で、いわゆる賃上げに対する補助が第三セクターに936万4,000円ほど上がっているのですが、第三セクターは1、2、3、4あるわけですが、これは、どこを、どこを対象にしたものですか。

それと、先ほど4番言った観光船の問題、あれは料金を改正したと、確かに改定はしていたの分かって、1,500円で今までやっているのを500円、とても上げるなら、1,000円以上は、上げるだろうなと思ったら500円、やっていることが、それで赤字が補填できるようなものではないわけ。全然言っただけ失礼だけれども、やる気があるのか、経営感覚があるのかないのか、非常に私は疑いたくなる。料金は、最低でも1,000円は上げるだろうなと思って、今1,500円が500円、2,000円です。全然どこにも、いわゆる物価、燃料の高騰等に対しても、補填できるような状態ではない。ただ上げたというだけで、本当の数字として赤字を幾らでも解消できるような、そんな金額で私はないと思います。もうちょっと、やるやらない、それからよく村長はそうなのですが、言っておきますけれども、他の自治体を全て参考にするようなことを議会で答弁するのがおおむねありますが、それはやめてください。村は、独自の田野畑村なのだけれども、村としてどうしてどうあるべきか、どうやるべきかということを考えていかなければ、ほかの自治体でもそれはやっている、やっていない、それとは全く違う角度で、自分なりの田野畑村の流を出していると思う。ほかの自治体でやっていなければやらない、やっていればやる。言っただけ悪いけれど

も、ほかの自治体の長ではないわけだ。あくまでも田野畑村の村長だから、それはしっかり改めるべきだと思います。ほかの他自治体の責任でも、せいでもないわけです。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 まずは、第三セクターの賃上げの補助の関係ですけれども、第三セクターの4社、陸中たのはた、あとは産業開発公社、サンマッシュ田野畑、甘竹田野畑になっております。

それと、観光船のお話もありました。今回は、羅賀荘と協議をして500円を上げたわけですが、その中ではやはり旅行会社、エージェントとの絡みとか、あとは単純に上げたところで乗船者数がどうなのかとか、そういったところを考えますと、やっぱり500円がまずは妥当ではないかというところで、500円値上げで今年度行ったところでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 課長、上げる幅が利用する側から聞いてやっていたら、ぼんぼん上げてくださいとは言わないの、当然。

それから、給与の関係、第三セクター4社に全て補助する。全然第三セクターは、独自で自立しなければならないのが条件だと思うのですが、こういう状態が村長、第三セクターとして妥当で適当だと思いますか。どう思いますか。本来は、全然違うと思います。

それと、第三セクターの中で、甘竹も入っているみたいですが、出資率は甘竹が一番なわけだし、その甘竹で今ちまたに、2年後ですか、もう今肉を加工している元の七滝小学校の跡地で今やっているわけです。それも撤退するやの話が聞こえていますが、村長からそういう話を、誘致企業どうの以前の問題として、第三セクターそのものが一部、部分的だけれども、撤退するということは、やっぱりこれは村長の、一言で言えば努力が足りないと私は申し上げたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 お答えいたします。

まず、さっきの質問になりますけれども、他の自治体を参考にしてというのはいかがかというご質問ありましたが、結論として、結論といいますか、他の自治体の状況を参考にして示すのは、もちろん田野畑村独自の案なわけですが、案を検討するに当たって他の自治体を参考にするというのは、田野畑村だけでなくほかの自治体でも一般的に行われているものというふうに認識しておりまして、ほかで何やっているかも、言い方ちょっと乱暴ですが、調べもせずやるというよりは、ほかのところでやっていることを調べた上で、あとは田野畑村の条件に合わせて田野畑村の考え方を提案するというのは、繰り返しですけれども、一般的な役所の仕事の進め方かというふうに思っております。

今回の質問のところについてですけれども、第三セクターが自立すべきというのは、おっしゃるとおりではございますけれども、第三セクターが有するそもそもの立ち位置といたしまして、

必ずしも民間の力だけでは成り立ちにくいところに事業を打ち立てるのが第三セクターの宿命の一つかと思っておりますので、自立すべきというのはもちろんそうなのですが、なかなか簡単には自立し得ないというのも、またあるかというふうに思っております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 確かに他の自治体どうのこうのというのは、それは内部の問題として調査なり調べることはいいことだが、それをあからさまに田野畑議会にそのとおり公表するのは、決して適当でない。それは、内部の調書として部分的に調べるのはいいだろうけれども、それが明らかに田野畑の議会でも参考に検討してくださいやのような、審議してくださいのようなことでは、これは適切な答弁では、あるいは考えだとは思いません。それは、内部で調査して出すのは、それは当然当たり前だと思います。

それと、第三セクターが、もちろん第三セクター発足は、自治体の力を借りて発足しているのは、これ常なのだけれども、その後の経営にもその都度その都度、村からのありとあらゆる、いわゆる第三セクターに対する補填をしていかなければならない。いわゆるこういうような状態がもう今後も続くことが予想されるわけです。その中で、新庁舎どうのこうのという以前のこれは問題だと思っているのでしょうか。要するに、なぜ言うかといえば、既存の第三セクターを健全な経営をできるような、そういう形をまず整え、あるいは村民の私生活あるいは1次産業、全て漁業、農業も含めて、今非常に不安な状態で、アワビの量も、これは浜の関係で開かないわけですが、本当に今年の収穫の口開けは3回しか予定していないようだし、全て村民は、宿泊、酪農から、全ての業種、その中であれもやる、これもやると大風呂敷広げたって、これは行く行くは村自体がにっちもさっちもいかなくなると思うのです。むしろここで目を覚まして、庁舎は1年、2年後回しでも私はいいと思います。まあ参考までに。

○議長【鈴木隆昭君】 阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 第三セクターにつきましては、議員もご指摘のとおり、自立に目指して経営体制の構築ですとか、収支改善に努めていくべきものと思っておりますので、今後ともそれは引き続き努力していきたいというふうに思っております。

あと、すみません、先ほど答弁漏れがありました。甘竹田野畑の事業についてですが、これは親会社のアマタケが既に公にしているところではありますが、アイガモ事業については増産をしたいというふうなところでございます。アイガモの生産については、引き続き田野畑村でやっていきたいというところではございますが、現在でも従業員の確保に苦勞しているところでございまして、飼養羽数を増やすに当たって、育てるのに必要な人の確保ができない状況にあるために、増産をしつつ、今のような全量加工を田野畑村で行うのはなかなか難しいという状況の下で、生産については現在加工に振り向けている人を生産部門に振り向けて生産を増強した上で、加工は全量ではないと思っておりますが、大船渡のほうに持って行ってやる部分と、付加価値の高い部分

は田野畑において引き続きやっていく部分もあるというふうに伺っております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 私が言いたいのは、いわゆる村に誘致企業をというようなことを前提とした形で、当然村長は動いている、働いているということなのですが、これではとても誘致企業、どういう企業が当然分からないにしても、非常に難しい状況にあると私は思うのですが、村長、どうなんですか。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 甘竹田野畑につきましては、先ほど阿部副村長から答弁したとおりと私も伺っておりました。要は、これから増頭に向けて取り組んでいきたい。ただ、処理については、大船渡のほうに集約していきたい。ただ、その後の加工する部分を、また田野畑のほうに肉を持ち帰って、そちらのほうで商品化、製品化にしたいというふうに伺っております。ということで、今アマタケ本社さんのご都合もあるところでございますので、撤退ということではなくて、いずれアイガモ自体は増産に向けて取り組んでいくというふうに伺っております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 副村長、株主である村は、私から見れば都合よく理解されているのかなと思うのですが、飼育は当然村でやることは、これは確かだろうと、それはそんな混雑したところで飼育するわけで、それはそれで理解するけれども、いずれ撤退の方向になることが俺は大ではないかなと思うし、私が申し上げたいのは、第三セクター、それは本来は2年ぐらい前から加工場の場所を欲しいと探した経過はあると聞いているんですよ。それが適地がなかったということからこういう、あるいは従業員の確保の問題も当然あったらこうということ、今後とも従業員の確保というのは、例えば甘竹にかかわらず、第三セクターを誘致するに当たっても、非常に難しい問題だなという、だったら既存の関係の業種もいろいろあるから、それをやっぱり大事にしながら、雇用の確保、その中にあったときに第三セクターもあるわけですが、そのように方向を仕向けるべきだと思うのですが、どうですか。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午前11時42分）

再開（午前11時43分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 既存の第三セクターが、従業員がきちんと確保できて、事業としても自立していくように、適切に誘導なり支援していくということも必要だと思っておりますし、1次産業をはじめとする村のもともとの産業の従事者の皆さんが今ある課題を乗り越えて、引き続き業

務なり産業を継続していくためにも、村としては必要な支援をしていきたいというふうに考えております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 村長の答弁の中で、いわゆる4村での企業誘致の働きで東京に出向いたという経過がありました。私から考えれば、当然九戸村、野田村、普代村、田野畑、4村での働き、それはそれとしていいのだと思うのですが、ただしそこにそれぞれ村の条件、諸事情があるわけですから、それはその枠組みの中で参加するのは当然適切だと思うのですが、やっぱり村独自の誘致のことも考えていかなければ、4村と全て同等ではなく、独自の動きも常に働くべきだと思うのですが、村長、考えはどうでしょう。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 今、本年度は4村でということを取り組まさせていただきました。独自の動きということのご指摘、そのとおりでと思います。今、村に誘致してある企業等も含めまして、企業訪問等も含めて、また連携を深めながら、村の雇用維持等に努めてまいりたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 7番、佐々木芳利君。

○7番【佐々木芳利君】 賃上げ支援補助金ですが、支給の基準は何ですか。従業員数が基準ですか。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 第三セクターの賃上げの関係ですけれども、従業員の数、雇用者、あとは雇用者の中での正規、あとは日給、時給の方、全て含みます。それで、基準は、令和6年1月と令和7年1月、今度7年1月になりますが、そこでその差分を見て支給するというものになります。

○議長【鈴木隆昭君】 7番、佐々木芳利君。

○7番【佐々木芳利君】 例えばこの前、報道にありました県の動きですが、時給50円以上引上げの企業とかなんとかという条件があったのですが、そういった細かい条件はなしの支給で検討をされたのですか。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 そのような幾ら以上なければ駄目という条件はつきません。

○議長【鈴木隆昭君】 7番、佐々木芳利君。

○7番【佐々木芳利君】 まず、ありがとうございます。やはり第三セクターは、行政にとってはある意味お荷物といいましょうか、負担の多い組織かと思いますが、逆に言うと雇用確保して、村内の経済を活性化の一翼を担う組織だと思いますので、やはりこれは人口減少の中で従業員確保も大変かもしれませんが、大事にしていきたい組織です。例えば今県で言えば食肉加工のいわちくさんは恐らく県の一番の負担というか、お荷物というマイナス的なトップが県の第三セクターではいわちくさんだと思います。ただ、では負担が大きいから、マイナスだから、いわちく

をなくするというと、では岩手県の食肉加工、これを青森県にまで搬出するの、秋田まで搬出して処理してもらうのというような大きな負担が伴うわけです。ですから、経費的にはマイナスであっても、やはり果たす役割というのは大きいものがあると思いますので、大変な部分もあるかもしれませんが、これは行政にとっては大事な組織だと思しますので、よろしくお願いをしたいと思います。これは要望です。

○議長【鈴木隆昭君】 3番、小野協次君。

○3番【小野協次君】 今の第三セクターの賃上げ奨励補助金なのですが、私もこれは反対ではない意見ですが、聞きたいのは国でも県でも最低賃金等で上げたところで、令和5年、6年と補助しているわけなのですが、そういう部分、そういう補助金をもらうために、陸中たのはたと公社は取り組んでいるのでしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 お答えいたします。

前回の県の賃上げ補助の関係では、陸中たのはたと産業開発公社は、それに応募しております。

○議長【鈴木隆昭君】 3番、小野協次君。

○3番【小野協次君】 そういう部分、きちんと応募してやっているのであれば、職員のためになっていると思うのです。私もこれには賛成します。なので、そういう部分、国の補助とか県の補助とかよく見てやってもらいたいなということで、これは要望です。

以上です。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 たしか県の助成金は、これから具体的なことになると思うのですが、従業員1人当たり、上げ幅にもよるのだからかもしれませんが、5万円ほど支給を検討しているやに私は理解しているのですが、その関係と、これ村として出しても、賃上げによってはその該当になると思うのですが、その辺はどうなっていますか。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 お答えいたします。

今県のほうでも、おっしゃるとおり、第2弾といいますか、前回続いた賃上げ補助金を今検討中ということですが、中の条件がまだ幾らの上げ幅とか、1人幾らとか、上限がというところがまだ決まっておりませんので、村の補助金を例えば出した後にどういった条件になってくるかというのは見定めたいとは思いますが、現在のところでも50円以上上げたところ、あとは1人5万円20人が上限ということで、実質マックスでも100万円ということになっております。なので、そういった、おっしゃるとおり県がどういうふうに出すかというのも見極めながら、まずはその辺はどうするかというのは相談しながら、進めたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 一般質問で私も取り上げたのですが、岩手日報に載ったとおり、年度内ではなくて、県では年内補正も考えているというふうに県会議員から連絡が来たのですが、年度内ではなくて年内補正ではないですか。

○議長【鈴木隆昭君】 企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 年度という話は、私……

○4番【中村勝明君】 年内。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 ではしておりませんが、年内に出れば年内で、まだ条件とかがちょっと具体的に示されていないものですから、村は村でこうやって今回議会がありますし、国のほうでも現在補正予算、取り組んでおられますし、県のほうでもそういった動きがあるのは承知しておりますので、そこら辺はおっしゃるとおり、状況を見極めながら、適切に処理していければと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 昼食のため1時まで休憩いたします。

休憩（午前11時53分）

再開（午後1時00分）

○議長【鈴木隆昭君】 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎答弁の保留について

○議長【鈴木隆昭君】 質疑に入る前に、4番議員に対する答弁を保留していた事項がございますので、答弁いたさせます。

企画観光課長。

○企画観光課長【工藤隆彦君】 羅賀荘取締役会の回数について、保留にしていた分、報告します。令和5年度は、計6回行っております。5月29日、6月7日、8月2日、10月23日、12月28日、年明けて2月16日となっております。

令和6年度ですけれども、これまで3回行ってございまして、6月19日、6月25日、9月25日ということになっております。

以上です。

○議長【鈴木隆昭君】 質疑を許します。

4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 議長の許可があればの話ですが、議長の許可をぜひいただいて。というのは、3番議員の初日の一般質問、教育長の答弁が、差別用語になっては恐縮ですので、考えてしゃべりますが、非常に……特に3番議員の質問もよいせいもあって、少子化にこれからなって、少子

化になって、しかも複式学級になる可能性が非常に高い、そういう状況の中で、子供たちが生き生きと学べる環境をどのようにつくっていくかという質問をしました。それに対する藤岡先生の、教育長の答弁が「少ない子供たちが施設をダイナミックに使い、伸び伸びと豊かな学校生活を送ることができるよう、地域に開かれた学校施設の在り方も含めて考えていきたい」。そして、しかも、中間は省きますが、「この田野畑で、広い空間を子供たち個々の能力や特性を十分に発揮させた学びを可能としていくことで」、これからがよいのです。「大きな人間へと育てていくことを田野畑の教育の今後の方向性と考え、その在り方を検討したい」。誠にそのとおりの答弁でして、ただよほど村長を含めて、一体となって、昔、早野仙平さんが教育立村を掲げたような教育理念、村政運営の理念、それらがマッチしないと、なかなか容易ではないというふうに私は受け取りました。人の質問に関連をして、議長が抑えませんが、あえて質問させていただいておりますが、3月の議会では私も今までためていましたので、教育行政関係の一般質問を必ずしたいなというふうに思っているのですが、その前に大きな人間へと育てていく、こういう答弁をした教育長の考えを改めて、よかったら、お聞かせをいただきたいわけですが、どうでしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 藤岡教育長。

○教育長【藤岡宏章君】 3番、小野協次議員の質問に対する答弁について取り上げていただき、ありがとうございます。私がここで「大きな人間」という言葉を使ったのは、夢と希望、そして何よりも志を持った人間として育ててほしいという思いがございませう。そういう部分で、人としてのスケールの大きな人間に育てていくような教育を進めてまいりたいという決意を込めて使った言葉でございます。本村の小中学校は、ご承知のとおり、田野畑学というものを中核に置きながら進めているわけなのですが、現在、小学校、中学校、校長先生はじめ、各先生方をお願いしているのは田野畑のこれまでの歴史を学ぶというだけではなくて、今の田野畑をさらに掘り下げ、そしてこれから将来の田野畑を描くような教育へとステップアップしてほしいということをお願いしているところでございませうので、田野畑学を中核としながら、進めていくことによって、小学生、中学生が夢と希望を膨らませて、自分はこういう人間になるのだという志をしっかりと持てるように教育として支援していく、サポートしていくということを第一に考えたいということで、この言葉を使ったところでございませう。

以上です。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 本当に3番議員には失礼というか、僭越で恐縮ですが、もう一点、答弁がよかったですから、私子育てが終了をしてもう何年もたっておりますので、子育て最中のことは忘れずにはなつたのですが、たのまるプロジェクトというのも3番議員から教えていただいて、ありがたいと思つているのですが、たのまるプロジェクトというのは、答弁では現在53人の小中学生が参加登録をしていると。小中学生の参加登録はしているという答弁はお聞きをして分

かったのですが、親の関わり方はたのまるプロジェクトではどうなっているのでしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 教育次長。

○教育次長【佐々木 修君】 民間団体である子供の居場所づくりを進めるたのまるプロジェクトということで、答弁したとおり、事業は大きく分けて3つの柱になっております。一番、アズビィ学習センター周辺を使いまして、たのまるパークという事業を行っておりますが、小学校が月曜日、木曜日が3時バスでの帰着になるということで、その間、登録された子供たちがバスに乗ってアズビィ学習センターまで来て活動をするという内容になっております。

親御さんにつきましては、たのまるプロジェクトの構成委員になっている大人の方が何人か見守りをしているということで、基本的には子供たちで活動し、数名のメンバーで見守りをするというような形で活動しております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 選挙費、衆議院、参議院選挙に関わる問題で伺うのですが、当然選挙ポスターなんかを貼るわけですが、ポスターの掲示板を請け負った業者が、何か材料が古い材料を使用しているということも明らかなのですが、これについて問題があるのではないかと思うし、それから非常に衆議院と参議院が、参議院の補欠から衆議院になって、同時選挙になって、だから看板の柱もかなり節約したような状態で設置しているが、これは終わったことなので、あれですが、今後こういう業者にも指名するのかどうか、副村長は指名のトップだと思うのですが、どうですか。

○議長【鈴木隆昭君】 選挙管理委員会書記長。

○選挙管理委員会書記長【畠山 哲君】 ただいまのご質問にお答えいたします。

選挙ポスターの掲示板につきましては、村内の業者を数社指名いたしまして、見積りを徴し、そしてその結果、契約をしているところでございます。見積りを徴する際には、設計書として一応何区画の掲示板で、柱が何本で、規格がどのぐらいとかまでというふうなものもお示ししてございますので、そちらのほう、適切に施行されるよう、確認あるいは指導をしてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 しかし、この業者、何年となく毎年選挙あるわけではないにしても、その都度、選挙のたびに入札を過去何回連続して、連続が悪いというのではないです。そういうもう自分が入札できるのだ、やるのだという前提で使用了る部材を次のために確保していて、古い部材を使っているというような状況なのですが、今後もこういう業者、問題なく指名するのですか。私は、問題だと思うのですが、何も問題がないですか。指名、事務局は今答弁がされていますが、指名のトップの人はどうでしょう。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午後 1時11分）

再開（午後 1時12分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

選挙管理委員会書記長。

○選挙管理委員会書記長【畠山 哲君】 ただいまの指名の関係でございますが、ポスター掲示板、選挙が決まりまして告示されましたらば、告示前からですが、準備いたしまして、村内の業者さん、具体的には物品、役務等の関係の名簿に登録されている業者及び建設関係の名簿に登録されている業者から事務局のほうで村内業者を選定いたしまして、そして決裁を受けて見積書を徴収しているという形でございます。ですので、建設工事等のように、指名入札に係る指名委員会は開いてございません。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 それでは、それはそれで理解したとして、請け負った業者は、いわゆる契約に沿った内容のものを使っているかどうか。これは、古いのもよいということであれば、何使ってもよい、古いのもよい、何とは言わないが、規格にして合っているか、古くても新しくても問題がない。私が言いたいのは、新しいのを使うべきものを古いのを使っているのではないかということ指摘しているわけですが、その点、どうなのですか。

○議長【鈴木隆昭君】 選挙管理委員会書記長。

○選挙管理委員会書記長【畠山 哲君】 先ほども一応一番最初に申し上げましたが、見積書を徴収する際に、部材の規格等をお示ししてございます。そちらのほうで、そちらの規格に沿ったものを使っただけという形になってございまして、その規格に合っているかどうかというところの確認をしているところでございました。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 何年前の部材でも、古いのも構いませんと、寸法さえ合っていればということなのですか。そこをお伺いします。

○議長【鈴木隆昭君】 選挙管理委員会書記長。

○選挙管理委員会書記長【畠山 哲君】 設計書のほうには、規格のみお示ししてございまして、新しい部材、古い部材等の仕様書は明記はしてございませんでした。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 ということは、契約の内容と異なっているという部分になりますよね。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午後 1時15分）

再開（午後 1時19分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

選挙管理委員会書記長。

○選挙管理委員会書記長【畠山 哲君】 ただいまご指摘がございましたポスター掲示板の倒壊があったのではないかとこの案件でございますが、確かに大風が吹いた日がございまして、村内で数か所、倒壊した事案が発生しました。即座に設置業者に指示いたしまして、補強を含めて、ポスター掲示板の再設置について指示し、対応をしていただいたところでございます。なお、今後そういうことのないように適切に指導してまいりたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 引き続き、選挙の部分で、本来であれば一般質問でお聞きするのが当然だろうけれども、来年8月は村の村長選挙に当たるわけですが、誰しもが覚えていると思うのですが、そこで現職である佐々木村長は、8月の村長選に対して出馬の意向があるのかないのかを、この機会に伺っておきます。村のことでない、本人直接の個々の部分だけでも。

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午後 1時21分）

再開（午後 1時21分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 後援会とよく相談して、熟慮して判断したいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 当然後援会もあることも承知しているし、あれだが、本来自分自身だから、一番あれですけども、今のところ出るとか出ないのか、できれば本人から意向を聞いておけば、大変今後の議員活動に役立つ部分もあるかなと、伺っておく。

○議長【鈴木隆昭君】 佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 先ほど答弁したとおりでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 では、ちょっと角度を変えて、一般質問でも触れていたわけですが、何か4番議員、要するに職員が非常に多く辞められるということで、年齢で退職とか、そういうのはこれ当然やむを得ないけれども、心配されるのはほかの市町村もそうだというような答弁でもいいのだけれども、それとは別にやはり村としても何らかの、いわゆる今よく報道されている兵庫県齋藤知事とか、いろんなあれが上がっているのですが、いわゆる例えばパワハラとかセクハ

ラとか、そういうように該当するようなものは当然ないとは思いますが、改めてここで確認しておきたいと思います。どうですか。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 ただいまのご質問でございますが、俗に言う、今いろいろなハラスメント、何十種類あるか分からないというふうに言われておりますが、現在のところそういった大きい問題は担当課といえますか、人事担当課のほうへ来ていないところでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 総務課長、大きいとか小さいか、小さくてもそういう問題はそういう問題として、大きい問題というのは上に上がってこない、上の目では見えないという部分なのかなと思うのですが、あると思ったわけでもないけれども、ただ私が心配するのは今結構若い方が何名か辞めるというような状況なので、特にそういうのが疑いたくなるなというように思われるので、伺ったので、これはある程度な、もちろん定年、あるいは定年過ぎているのがあったり、ある意味で当然かもしれませんが、そういう若い職員が辞めるといのはやっぱり自分の将来とか今後の問題とか、いろいろ個人の問題が当然あるとは思いますが、問題は職場内部に何が不審な点はなかったのかなという、立場上、心配しているということです。

○議長【鈴木隆昭君】 総務課長。

○総務課長【工藤光幸君】 若い職員でも、近年といえますか、退職の道を選んで別な方向へ行くという職員が増えているというのは、一般質問のほうでもご答弁したところでございますが、そういったハラスメント関係の問題で転職ではなくて、やはりステップアップ的な形での国の職員になるですとか、県の職へなる、それから出身地のほうの市町村役場といえますか、そういったところに転職するというような、言わば一部では自分の家庭の事情と、それからたまたまその出身のほうでの採用の募集があつて、そちらに応募して、そちらに採用されるというような事例が多くなっております。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 6日の一般質問の関係で気になったというのがございますので、改めて指摘、そして答弁をいただきたいと思います。免許を返上した方々、お年寄りが多いわけですが、その方々で電動自動車に乗っている方は、私もいつかそうなればなと思っているのですが、やっぱりこの問題は小さなようで、実は私は大きな問題だと思っております。高齢者対策もありますから、そういう点では、せつかく関連で私は立派な質問してきたなと思ったのですが、歩道の整備を村としてどう考えるかという率直な質問が出ました。そうしたら、村長も副村長も手を挙げないと。そして、担当課の地域整備課長が答弁をして、今のところ検討していないという残念な答弁をいただきました。これは、村の責任者として、私は村長か副村長がなぜ手を挙げないかと思いました。それで、あえてまた指摘をしておきたいわけですが、近い将来、遠い将来も含めて、歩道の

整備が私は当然村の責任で、道路管理は村にあるわけですから、そういう場合はぱっと答弁すべきだと思うのですが、いずれ近い将来、遠い将来を含めて、当然検討するのは村以外にないと思うのですが、国道は国、県道は県、村道は村です。そういう考えを少なくとも検討し……近い将来、遠い将来は別として、検討をぜひしたいという答弁はいただけませんか。今検討をしていなくても……

○議長【鈴木隆昭君】 暫時休憩いたします。

休憩（午後 1時29分）

再開（午後 1時30分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

阿部副村長。

○副村長【阿部芳肇君】 お答えいたします。

いわゆるセニアカーとか電動カートと言われる乗り物ですが、道路交通法上は歩行者に分類されるものだというふうに思っております。なので、その車が通るためには、歩道を整備することになるかとは思っております。一般事例として見聞きした範囲ですと、セニアカーの幅とか歩行形態が通常の歩道だと走りにくくて車道に出てしまい、それで事故が起きるといった事例のほうを、どちらかという私は今まで見聞きした中では多く聞いているという状況です。そういった事情もありますので、田野畑村の場合、そもそも村道の場合、車道に対する歩道整備というのはあんまりないということもあるのですが、そこに通常の歩道をつけるとセニアカーに乗っている方がかえって今までよりも車道側に出てしまうのではないかとということも考えられますので、なので一概にセニアカーの方のために整備を検討しますとも簡単には言えないのかなというふうに思っております。いずれ、これまで村政の課題、担当課からの課題意識としてセニアカーの方が通っていて、交通の危険が生じているというような担当課からの課題意識も来ていない状況ですので、村内で電動カート、セニアカーに乗っている方がどこにどれだけいらっしゃるかも含めて、まずは現状把握に努めたいというところかと思えます。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 せめてそれぐらいの答弁を6日にいただきましたかったです。すぐやるだなんて、調査もしないでできるわけがないですので、いいです。今の答弁で、大々満足ではないですが、やや満足しましたので、以上で終わります。

道の駅、一般社団法人思惟の風、本来は村の産業振興課、企画観光課、あるいは室、新たにプロジェクトというか室を設けて、室長が課長クラスで任務に就いているわけですが、そっちの担当かなとも思ったのですが、いずれ思惟の風、道の駅たのはたがやっても、まあ私は、どこもやらないのであれば、やらないよりはやったほうがいいと思うのですが、本来は私は公社がやるべ

きだと思っているのですが、銀河の忘れもの、たのはたヨーグルトプリン風という立派なカラーのチラシを設けて営業に歩いている方がいたのですが、全くありがたいことだなと思っているのですが、これは村との関連はどれぐらいの組織的な協力関係がおありなのか、お聞かせをいただきたいと思います。あるいは、村とは……でも、村と関係がないはずはないと思います。一般社団法人ですし、村から何かあれば援助はしなければならない組織でありますので、答弁をまず率直に、村とどれぐらいの関わりで銀河の忘れもの等のチラシを作って運営をしているのか、お分かりの範囲でお聞かせをいただきたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 産業振興課長。

○産業振興課長【佐藤智佳君】 お答えいたします。

銀河の忘れものという新商品でございますが、6次化推進協議会の中の商品開発支援事業というものでやってございまして、村内の方でございましたが、田野畑のヨーグルトを使った商品を何か検討していて、ある程度、ホテルのシェフですとか、いろいろアイデアをいただきながら、商品化までのメニューを検討しているところだということで、最後の賞味期限の設定ですとか、保健所の関係ですとか、あとパッケージの関係、その辺について6次化推進協議会で支援をさせていただいたものでございます。

○議長【鈴木隆昭君】 4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 村からの予算措置等は、どれぐらいになっているのでしょうか。

○議長【鈴木隆昭君】 産業振興課長。

○産業振興課長【佐藤智佳君】 6次化推進協議会でございますが、本年度160万円余りの予算を全体予算としていただいております。その中の一部で支援したものでございます。今ちょっと具体的な数字はお持ちしておりませんが、数万円程度とっております。

○議長【鈴木隆昭君】 9番、佐々木功夫君。

○9番【佐々木功夫君】 道の駅のインターチェンジ付近のインターチェンジの部分の関係で、村で工事する部分があるわけですが、その関係の何かこういうように今の現状の道路、あるいは何か理念とか、そういうのが作成されていると思うのですが、それをお示し願いたいと思うのですが、いかがですか。

それから、立ったついでで悪いが、今日はさっきの8月の件は後援会等と協議して、それでそれぞれでいいのですが、私が言いたいのは新庁舎の建設についても、後援会ももちろんあれですが、後援会の関係で幹部の方に私が仄聞しているのは、決して賛成とは言えないような状況にあるやに私は伺っているのですが、そこは建設はもうもちろん後援会が結果、結論を出すものでもないことだが、幹部がそういうような状況にあるというのは多分認識しているはずだと思うのですが、どうですか。参考までに。

○議長【鈴木隆昭君】 いや、最初に、資料要求の話がございました。資料要求につきましては、議

運を開いて、それで決定してから資料要求をするかどうかということを従来も決めていますので、それに沿ってやりたいと思いますので。

あと、庁舎の建設のいろんな話について。

佐々木村長。

○村長【佐々木 靖君】 庁舎の建設につきましては、まず県から特定既存耐震不適格建築物に指定されているということでございますし、それにつきまして危機管理の一環でもあるというふうに私認識しておりまして、それについて説明していきたいというふうに思います。

○議長【鈴木隆昭君】 10分間をめぐりに休憩いたします。

休憩（午後 1時39分）

再開（午後 1時51分）

○議長【鈴木隆昭君】 再開いたします。

質疑に入る前に、先ほど9番議員より資料要求がございまして、議運で審議いたしました結果、要請することに決まりましたので、当局では資料をご提示願います。

質疑を続行いたします。

4番、中村勝明君。

○4番【中村勝明君】 私は、今、後期高齢者の議員に選任されまして、11月定例会の決算審査に臨んで、私なりに様々意見を述べてまいりました。そこで、後期高齢者医療広域連合議会の11月定例会が始まる前に、広域連合の事務局長が講演をしまして、1時間、研修会へ参加しました。その中で、後期高齢者の勉強会やったのですが、資料を渡されまして、分かりやすく説明したために、大した勉強になったのですが、令和8年度以降の後期高齢者ばかりではなくて、医療保険制度改革の主要事項の資料を頂いてきました。当局では、当然、予算編成時期でありますので、恐らく情報は担当課には来ていると思うのですが、令和7年4月から、4月といいますと、もう12月ですから、あと3か月しかないわけですが、出産・子育て応援給付金の制度化、恐らく国会等では決まっているから、こういうのを私たちに資料、渡したと思うのですが、俗に言う妊婦支援給付金、これは今日はこれそろそろ終わって、あした審議になりますので、そこで報告……今できればすごくありがたいのですが、妊婦支援給付金については、これは給付金として田野畑村に国庫補助か何かで来る予定なのかどうか、お聞きしておきたいと思います。

もう一点、共働き、共稼ぎを推進するための経済支援、俗に言う出生後休業支援給付金、こういう名称で、これもまた説明をそのとおりにしているのですが、令和7年4月から対象費用に相当しているのですが、これも本当に情報として担当課に来ているかどうか、この2点も確認しておきたいと思います。

○議長【鈴木隆昭君】 住民生活課長。

○住民生活課長【大森 泉君】 お答えいたします。

今、課内のほうで予算を取りまとめ中でございますが、私のほうでは今お話のあった給付金についてはまだちょっと捉えていないところございました。確認の上、後ほど答弁をさせていただきたいと思っております。

◎延会の宣告

○議長【鈴木隆昭君】 お諮りいたします。

本日の会議はこれで延会といたしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長【鈴木隆昭君】 ご異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会とすることに決定いたしました。

本日はこれで延会といたします。ご苦労さまでした。

(午後 1時57分)